



# やらまいか

クラブテーマ：参加して、行動して、ロータリーを楽しむ Let's Enjoy Rotary

会長/大木健市 幹事/林 博宣 会報委員会/中西弘徳・宇野秀幸 例会/毎週火曜日 12:30 豊川商工会議所  
事務局/豊川市豊川町辺通 4-4 豊川商工会議所会館内 TEL0533-86-2535 FAX0533-86-8889 HP/<http://toyokawahoi.tank.jp>

本年度第36回 通算1520回 平成30年3月27日(火)	出席報告	会員総数	出席者数	出席率	3/13 修正出席率
		66名	37名	61.7%	85%

ゲスト：市内6高校の生徒27名、教諭7名 ビジター：中杉和雄さん、田中粹人さん、渡辺稔明さん（豊川RC）

## ★会長あいさつ

### 大木健市会長



皆さん、こんにちは。各高校の引率の先生をはじめ、生徒の皆さん、ようこそ豊川宝飯ロータリークラブの例会にお越し頂き、ありがとうございます。

今日は、高校生の皆さんの地道なボランティア活動を聞かせて頂き、我々も勉強をさせて頂き、ロータリーとして今後の奉仕活動に活かして参りたいと思います。本日の発表を大変楽しみにしています。発表される6つの高校の皆さんに心より御礼と敬意を申し上げます。今後も末永い活動を続けて頂きます様にお願いを申し上げます。

## ★幹事報告

### 林 博宣幹事

台湾台中松竹 RC の来訪について  
新クラブ「愛知三州 RC」の設立について  
クラブ名 愛知三州ロータリークラブ  
スポンサー 岡崎 RC  
例会日 毎月第2第4木曜日 18:30  
例会場 岡崎市 暮らしの杜  
事務局 岡崎市 葵ホール

Facebook

<https://www.facebook.com/sanshurc/>

## ★青少年奉仕委員会担当例会

### 委員長あいさつ

### 杉浦元保委員長



本日の例会は、青少年奉仕委員会が担当させて頂きます。

高校生の皆さん、春休みの貴重な時間にご出席を頂きまして

感謝申し上げます。先生方には、新年度を迎える前の大変ご多忙の中、生徒さんの引率としてご出席頂きましてありがとうございます。

本事業の“ボラン・コラボ・穂の国7”は、毎年2回の開催で、今年で11年目を迎える継続事業として豊川市内の6つの高校の生徒さん達に、ボランティア活動の取組みについて発表を行って頂いております。本日ご出席の生徒さんには、各学校の様々な活動を聞いて、今後の自分たちの取組みについて参考となる機会となればと考えております。

また、例会終了後に交流会として、ボランティア活動の情報交換、各学校間の交流を深めて頂きたいと考えております。生徒さん、先生方におかれましては、交流会と合わせて約2時間の貴重なお時間を拝借することになりますが、よろしくお祈りします。

我々ロータリアンにとっても、高校生の皆さんの生き生きとした活動発表は良い刺激となると思います。最後までご清聴よろしくお祈りします。

## 小坂井高校の発表



平成 29 年度、小坂井高校ボランティア活動について報告します。私たち生徒会は、1 年生 2 人 2 年生 4 人

の計 6 人で活動をしています。本日は、9 月からのボランティア活動の報告と今後予定しているボランティア活動の報告をします。

9 月に行われた本校の文化祭“はぐま祭”での活動について報告します。私たちは、生徒会として被災地への復興支援を行いました。今年度は昨年度に引き続き、東日本大震災で被災された東北地方の方々への支援に加え、熊本大地震で被災された熊本県の方々にも支援を行いました。具体的には、東北地方や熊本県の特産品を売り、集まったお金を被災地に届けようと言う事です。今年は販売予定数の全てを完売することが出来ました。総額 104,020 円も集めることが出来ました。私たち高校生が出来ることは小さな事かもしれませんが、このような活動を続けていく事で、被災地の復興を早めたり、被災された笑顔のキッカケになればと思うので、これからも続けて行きたいです。

赤い羽根募金について報告します。私たちは 6 日間募金活動を行いました。赤い羽根は、アメリカなどで勇気や善い行いと言う意味があり、私たちも高齢者や障害を持った方々に、少しでも多くの支援となるような募金活動を行いました。その結果、42,536 円も集まりました。協力して下さった人たちに感謝し、この活動をこれからも行って行きたいと思います。

昨年 12 月に行われた小坂井高校独自の活動であるクリーン大作成について報告します。クリーン大作成とは、部活単位で清掃区域を決め、学校内や学校周辺の道路、通学路を清掃する活動です。学校内だけではなく、地域まで綺麗にしたいと思いを持つ生徒たちが、一致団結して清掃を行いました。参加することで、地域におけるボランティア活動の身近さを参加者全員が理解することが出来ました。この活動を通して、ボランティア活動をする機会は身近にあることを沢山に人に知っても

らいました。また、本校のボランティア活動の充実のために、これからも継続的に行って行きたいです。

これから私たちがやりたいボランティア活動について発表します。私たち生徒会は、毎年 5 月に行われている豊橋善意フェスティバルに参加したいと思っています。参加したい理由は、この活動を通して様々な年齢の人たちと触れ合ってみたいと思っているからです。年配の方々を使う車椅子の体験など貴重な体験をすることができます。このボランティアを通して、人と関わる大切さや楽しさを学びたいと思っています。

また、5 月には豊川市でおいでん祭ボランティアがあります。日頃、生徒会では校外でのボランティア活動の機会が少なく、地域のために貢献できるとても良いチャンスなので、ぜひ参加したいです。

私たちの先輩方からも、「地域のために何かをすることにやりがいを感じた」、「初めて地域のために役立っていると実感した」という意見も出来ました。ぜひ参加して、貴重な体験をしたいと思っています。以上で報告をおわります。ありがとうございます。

## 豊川高校の発表



僕たち豊川高校生徒会執行部の 1 年間のボランティア活動についての報告をします。

6 月 11 日に

“豊川共生ネットみらい”の学習会に参加させて頂きました。愛知県副知事の堀井奈津子さんの講演、女性が社会で働く事をテーマに一般の方々とのグループ討論がありました。副知事の講演会では、女性が社会で活躍することの大切さや素晴らしさを話して下さり、とても参考になりました。グループ討論では、実際に社会で働いている女性の生の声を聞く事が出来たり、職場での経験を話して下さったり、とても良い経験をする事が出来ました。今後もこのような機会があれば参加し、社会について考えて行きたいと思います。

豊川高校では、生徒会執行部を中心に常日頃お世話になっている地域の方々に感謝を伝

えるため、毎年、地域清掃を行っています。清掃場所は、豊川駅から豊川高校までの道のりで、今年は3回の地域清掃を行いました。1回目は6月8日に行いました。この時は2年生の代議員さんに手伝ってもらいました。とても多くのゴミが道端や側溝に落ちていて、とても驚きました。地域の方々に「頑張ってるね」「いつもお疲れ様」などの多くの声を掛けて下さり、とても嬉しかったです。2回目は11月14日行いました。この時は、3年生の代議員さんに手伝ってもらいました。ゴミがあまり落ちていなかったため、早く作業を終えることが出来ました。ゴミを拾いながら、地域の人と挨拶を交わして行きました。3回目は3月14日に行いました。この時は1年生の代議員さんに手伝ってもらいました。1年生は、初めての地域清掃で少し緊張していたようでしたが、地域の方々と挨拶を交わして行くうちに、緊張もほぐれていき、元気に活動をしていました。

また、地域清掃の一環として、本宮山清掃にも行きました。本宮山清掃活動とは、豊川高校の登山部の皆さんが2001年より毎年年末に行っている活動です。今回、生徒会にも声を掛けてもらい、登山部の皆さんと清掃活動をしました。身の回りではゴミの分別など、環境への取り組みが行われているのに、ここではそれを感じさせない光景があつて驚きました。以前、清掃活動を行った時には、それ以上に汚かったそうです。まだ清掃を続けていくことが必要だと思いました。

豊川高校は、愛知私学奨学資金財団の募金活動も行っています。この募金活動は、経済的な理由により学校に通えない中高生に年間12万円の無利子の奨学金を貸し出すための募金活動です。僕たち豊川高校は、学園祭の時などに行っています。6月に行われ初夏の集いと言う行事の時に豊橋中央高校の生徒や高校生フェスティバルという団体の生徒と一緒に募金活動を行いました。この時集まった募金額は24,116円でした。9月30日、10月1日の学園祭で1億円募金活動を実施しました。この時は9クラスの代議員さんに手伝ってもらいました。集まった募金額は53,239円でした。1月6日豊川稲荷の門前で、豊橋中央高校さんと共同で募金活動を行いました。集まった募金額は122,875円でした。この募金活動を通して、より多くの方に1億円募金活動が奨学金の財源としてなくてはならない存在

だと分かってもらえたと思います。経済的な理由に苦しむ仲間のためにも、今後も精一杯活動をしていきたいです。以上で、報告を終わります。ご清聴ありがとうございました。

## 豊川工業高校の発表



今から豊川工業高校ボランティア部の発表を始めます。私たちは、1年生6人、2年生5人の11人で

活動し、平日はほぼ毎日、休日は地域のボランティアに年間30回以上参加をしています。活動様子は、新聞記事にも取り上げられています。

主な活動は、大きく分けて3つあります。1つ目は、月の一度、土曜日にプリオ生涯学習会館で行われる小学生対象のモノづくり教室です。このボランティアは、地域の小学4年生から6年生の子ども達に、工作の楽しさや工具の利用方法を教える教室です。工業高校ということもあり、私たちが指導員として豊川少年少女発明クラブの方と一緒に、パーツの組み立て方などを教えています。モノづくり教室には皆勤賞があり、1年皆勤、2年皆勤、3年皆勤に分かれていて、ボランティア部の最近の活動は、皆勤賞の子ども達に渡すプレゼントを作る事です。このボランティアに参加することで、様々な体験談を聞く事ができたり、地域のボランティアの方々や子ども達との交流を深めることができ、とても勉強になっています。

2つ目は、本校ボランティア部が主催している“キャンドルナイト”です。準備としてね夏休みを利用して地元の保育園や小学校を訪問して、半紙にイラストや夢を書いてもらったり、子ども達と交流をしたりしています。9月には八南小学校の子ども達に、マリンアートを作ってもらいました。このマリンアートは、海ではゴミになってしまう貝殻やガラスを再利用します。作ってもらったマリンアートは、キャンドルナイトの時に飾ります。キャンドルナイトは、毎年12月に豊川市総合体育館前広場で行っているイベントで、約

2,000本のキャンドルを使い、一つの文字を描きました。昨年は「紅」という文字を描きました。この「紅」の文字には、他の色に染まらず、自分たちの色を貫くという意味があります。私たちは、今ある活動を自分たちの色として貫いて行こうと思います。昨年は12月に開催し、暗闇に光るキャンドルは綺麗でした。来年度のキャンドルナイトは、夏に変更する可能性があるのですが、また報告させていただきます。

3つ目は地域のボランティア活動です。モノづくり教室やキャンドルナイトの他にも、おいでん祭では、衣服を回収しアフリカの子ども達のために仕分けしてから畳んだりしました。豊川リレーマラソンでは、走り終わった方々の写真を撮影したり、お疲れ様の言葉を掛けながら、タスキの回収を行いました。その他にも、あしなが募金、ふれあいフェスティバル、夏祭りのボランティアなど、1年を通して様々な活動を行い、地域の役に少しでも立てるように日々頑張っています。これからも多くのボランティアに参加し、活動を幅が広がると良いなと思います。以上で発表を終わります。ご清聴ありがとうございました。

## 宝陵高校の発表



平成29年度、宝陵高校ボランティア活動報告を始めます。

今年度参加させて頂いたボランティア

施設やイベントを報告します。5月6月には、イベントスタッフとしてボランティア活動を行いました。7月には、喜寿苑、穂の国荘といった施設の夏祭りやロータリークラブ交流会に参加させて頂きました。8月には、稻荷北、ホテルの郷、サマリアの丘、佐奈川、ゆうあいの里、秋桜の里、オリーブ、安形メディカルホーム、豊川市民病院の納涼祭に参加しました。また、青少年ボランティア体験、明陽苑、ひかり乳児院、笑い太鼓でもボランティア活動を行いました。9月には自由の杜、10月にはみのり、シーサイド吉前、愛厚希全の里、豊川苑、11月には、ホテルの里、さわ

らび荘の秋祭りに参加をしました。秋祭り以外にも歩行者天国やシティマラソンのボランティアにも参加しました。10月には、愛の年賀状のほか、育成会やホテルの里のクリスマス会、王寿会の餅つき大会などのボランティアに参加させて頂きました。1月から3月には、NPO法人昴のボランティアに計4回、いなりんピック、ロータリークラブ交流会に参加させて頂きました。

イベントスタッフとしてボランティア活動を行った際の様子や活動内容を報告します。5月には、豊川リレーマラソンのボランティアに参加をしました。AED待機として各地点に配置され、マラソン参加者へ大きな声援を送りました。6月には、豊橋まちなか歩行者天国のボランティアに参加をしました。ステージ出演者の案内や誘導、写真撮影者への注意喚起などを行いました。11月には、トヨカワシティマラソンに参加をしました。1キロ地点から10キロ地点までの各地点にAED待機として配置され活動を行いました。

イベントの他にも、衛生看護科や福祉科が実習先としてお世話になっている病院や施設のボランティアにも参加させて頂きました。その時の様子を報告します。7月29日には、穂の国荘夏祭りに参加しました。会場の準備や焼き鳥、焼きそば、金魚すくい、みたらし団子などの模擬店のお手伝いをしました。8月10日には、豊川市民病院納涼祭盆踊りにボランティアに参加させて頂きました。近隣住宅や来場者へのうちわ配布や、模擬店のお手伝いをしました。また、盆踊りにも参加し、納涼祭を盛り上げました。8月27日には、秋桜の里納涼祭のボランティアに参加し、車椅子の移動、介助、付添い、屋台の手伝いをしました。また8月27日には、オリーブの夏祭りにも参加しました。利用者の方との交流や、模擬店のお手伝いをしました。

今年度は、39ボランティアに220名が参加をしました。更に、ボランティア活動に3年間で5回以上参加した人には、ボランティア功労者として11名の3年生が表彰をされました。施設や病院でのボランティア以外に、生徒会役員が中心となり、クリーン活動を行いました。年4回の活動では、多くの生徒が参加し、学校や駅周辺の道路のゴミ拾いを行いました。更に、募金活動も生徒会が中心となって行い、ポスターや声掛けによって多くの募金を集めることが出来ました。他にもエコ

キャップ運動やあいさつ運動、そして今年度は花いっぱいの明るい学校になるように、花壇にたくさんのチューリップを植える活動を行いました。

最後に、今年度にボランティア活動に参加した生徒からの感想を報告します。自分から積極的に参加しようと思えるようになった。言葉の使い方を考える機会となった。自分自身を成長させてくれる活動。社会性を学べる楽しい活動。会話の仕方など勉強になる活動。と言ったプラスの活動であるという意見が多くありました。これからもボランティア活動が増えるように、ボランティア活動の良さを学校全体に発信していきたいと思えます。以上で平成 29 年度の活動報告を終わります。ご清聴ありがとうございました。

## 御津高校の発表



御津高校のボランティア活動報告を行います。御津高校には、ボランティア部やボランティア委員会のようなものがあり

りません。そのため、ボランティアは生徒会執行部が生徒会活動の一環として行ったり、参加者数は多くありませんが有志の生徒を募って行ったりしています。今日は、後期に生徒会執行部が行ったボランティアとこの1年間に有志の生徒が行ったボランティアについて紹介をします。

生徒会執行部の活動を紹介します。10月に前期執行部から後期執行部に交代して、異文化体験発表会のボランティアを行いました。この発表会は、英語や国際交流に力を入れている御津高校ならではのイベントです。海外研修、留学から帰国した本校生徒の発表する人も、それを聞く人も快適に過ごせる空間づくりに務めました。11月12日には、赤い羽根共同募金と地域歳末助け合い募金を集めました。歳末助け合い募金は108,317円、赤い羽根共同募金では21,030円が集まりました。

この1年に有志の生徒を募って参加したボランティア活動を紹介します。今年度も様々な活動に参加をしました。陸上部とリレーマ

ラソン、国際教養科とロボカップ、情報の授業と愛の年賀状など、他とのコラボがあることも特徴です。

御津高校は、今年度も様々なボランティア活動を通じて、地元の豊川、豊橋、蒲郡を中心とする東三河の活性化に少しでも貢献できるように努力してきました。そして、これからは御津高生は、報恩と奉仕の心を深め、地域に愛される様な高校を目指して行こうと思えます。ご清聴ありがとうございました。

## 国府高校の発表



平成 29 年度、国府高校後期生徒会の活動報告及びこれからの進展について発表をします。

私たち後期生徒会では、

赤い羽根募金をはじめ国府高校で発行している冊子の作成、ポプラの植替え、豊川ボラナビ、学校周辺ボランティアへの参加を行いました。今回は、前期より引き継いで活動をしているボランティア活動とポプラの再生活動の報告をします。

学校周辺美化ボランティアは、2学期の期末テストの最終日に運動部を中心に清掃区域を分けて、学校周辺の美化作業に取り組みました。本年度は13の部活動、約210名の生徒が参加をしてくれました。清掃区域は、校内をはじめ音羽川添いや国府駅周辺までの広範囲で行いました。落ち葉拾い、ゴミ拾い、側溝の掃除などが主な内容です。活動を通して清掃活動の大切を改めて実感することが出来ました。

豊川ボラナビへの参加とは、豊川市が決めたいくつものボランティアの中から、自分が参加したいと思ったイベントに参加をするものです。私たちは、“縁 (EN COUNTER AT TOYOKAWAINARI)” という活動に参加をしました。この縁とは、豊川稲荷の境内に色々な店を出すお祭りの様なものです。私たちは主に会場案内などをしました。そこで地域の繋がりを強さを感じました。

ポプラの植替えについて説明をします。国府高校から昔から伝わるポプラ並木がありま

す。国府高校の応援歌にも「♪そびゆるポプラ 靡く草♪」という歌詞があるように、国府高校のシンボルの様な存在でした。しかし、現在のポプラ並木は、数が減少してしまい、ポプラなんてどこにあるのといった状態です。そこで、私たちは、ポプラ並木を復活させようと思い、専門の方に来て頂いて、今年の3月に押木を行いました。そして、今年3月15日に、プランターから鉢へと植え替える作業を行いました。これは根を張りやすくするための作業です。国府高校が100周年を迎える2020年には、地面に直接植えることとなります。来年度も継続してポプラを育てて行きます。ポプラが国府高校のシンボルとして、もう一度返り咲く事を非常に楽しみにしています。

国府高校生徒会は、これからも学校のために全力で頑張っていきたいと思えます。100周年も近いですので、頑張っていきたいです。以上で活動発表を終わります。ご清聴ありがとうございました。

## ★交流会

例会後に、3つのグループ別れて交流会が開催されました



### テーマ

「ボランティア活動をして印象に残ったこと。今後、どのようなボランティア活動に携わってみたいか？」

### 各グループからの発表

- どのボランティアも大変だけど、地域の方々と接することが出来て良かった。
- 笑顔で接することの大切さを学ぶことが出来た。

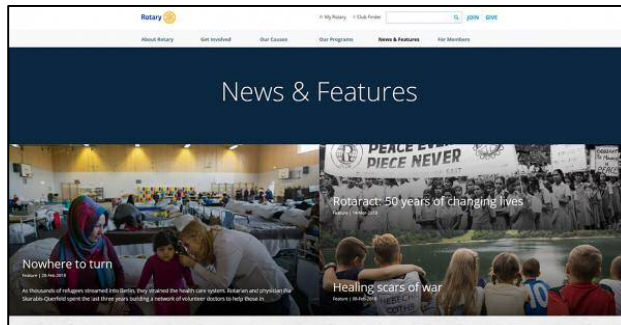
- 今後は、学校外での多くの活動に参加をしてみたい。
- 他校との合同の清掃活動、募金活動などを行ってみたい。
- 地域の方々と関わる活動をしてみたい。
- 他校と協力して活動を行ってみたい。
- 活動をして体力を使うけど、とても良い体験をすることが出来た。
- 他の高校との共同活動をすることで活動範囲が広がるので行ってみたい。

## ★ニコニコボックス

杉浦元保会員 本日の例会を担当します  
ゴルフ同好会 参加者からの協力金

## ★ロータリーニュース

インターネット界のアカデミー賞ともいわれる「ウェビー賞」に国際ロータリーのウェブサイト (Rotary.org) がノミネートされました。Rotary.org は第22回となる本賞のAssociations部門の最終5候補の一つに選ばれました。



ウェビー賞は、インターネット界で世界を代表する賞。Rotary.org は、審査員賞に加え、一般の投票によって選ばれる People's Voice 賞で受賞を競います。

審査員賞の選考基準には、コンテンツ、構成とナビゲーション、ビジュアルデザイン、機能性、インタラクティブ性、イノベーション、ユーザー体験などが含まれています。

会報担当：中西弘徳会員・宇野秀幸会員